

おおぞみ



広報 No.194

KOHO OGIMI 2011年5月号



大宜味

「健康長寿の
いきいき輝く
文化の村」



一面に咲くオクラレルカに囲まれて 野鳥観察会

撮影場所：喜如嘉ターブク

「結橋」 開通 ～村の発展に期待を込めて～

村道結の浜線（結橋）開通記念式典が3月25日、同地区の特設会場で行われ、役場関係者や施工業者、地域住民ら約100人が参加しました。

渡り初めに先立ち行われた開通記念式典で島袋義久村長は、「村道結の浜線が、今後の結の浜地区のアクセス道路として、地域活性化に大いに寄与することを期待します」と主催者式辞を述べました。

村道結の浜線は、沖縄北部特別振興対策特定開発事業を活用し、総事業費10億6800万円で整備されました。

「結橋」の一般通行が可能になることに伴い、本路線が全線開通を迎えました。全長は1719メートル。

式後には、結橋の供用開始を前に、塩屋区の古我地章さん、良子さん夫妻の子、孫に亘る三代夫婦を先頭に、出席者全員で「渡り初め」を行い、結橋の開通を祝いました。古我地章さんは、「渡り初めの大役を務めることができ、とてもうれしい。結の浜が今後、大宜味村の拠点として発展していくことを期待を込めました。」

結橋は長さ99メートル、幅10メートル。



主催者としてあいさつする島袋義久村長



渡り初めで、結橋を渡る関係者ら

シークワサー栽培マニュアルを作成しました

これまでのシークワサーは加工用果実の生産が主体でしたが今後は高単価の期待できる青切り果実やフルーツ用果実の生産に力を入れる必要があります。

そのためシークワサー振興室では県の補助事業を利用して「青切りおよびフルーツシークワサーを安定的に生産するための栽培マニュアル」を作成しました。植え付けの話から病害虫管理、肥培管理、フルーツシークワサーを鳥から守るための防鳥施設の設置など、基本的な技術を分かり易くまとめています。

ぜひシークワサー生産者の方は手に取って参考にしてください。



「第4次行政改革大綱」答申



大宜味村行政改革推進委員会（宮城成和委員長）は3月31日、平成23年度からの4年間、村の行革基本計画となる「第4次村行政改革大綱」を島袋義久村長へ答申しました。

行政改革推進のための主要事項は下記の7つとなっています。

- (1) 事務事業・組織の見直し、定員管理の適正化
- (2) 給与及び諸手当等の適正化
- (3) 民間委託、公共施設の効率的な管理運営
- (4) 財政の健全化
- (5) 開かれた村政及び情報化の推進
- (6) 職員の意識改革及び人材の育成
- (7) 村と県の適切な役割分担

村内で広がる支援の輪

村民からの善意で

69万8372円の義援金

東北・関東に未曾有の被害をもたらした東日本大震災の被災者支援に役立ててもらおうと、村役場では義援金箱の設置と、義援金の受付を行っております。4月19日現在、各団体からの義援金受付と義援金箱の金額を合わせ総額69万8372円が集まり、第1回目の集計分を日本赤十字社沖縄支部に義援金として送金しました。義援金箱は他にも、道の駅おおぎみ、村立歯科診療所、村立診療所にも設置されています。期間は、9月30日まで。

協力してくれた 人たちと想いを共に

東日本大震災の影響で、千葉県で開催が予定されていた全国小学生ソフトテニス大会が中止となったため、きじよかゝズは4月4日、派遣費捻出の資金造成活動で集めた資金の一部10万円を義援金として村役場に託しました。きじよかゝズ保護者会は、今回の義援金について「きじよかゝズとしてではなく、協力いただいた方々の気持ちとして、思いを一つにできるような形で義援金としたい」と話しました。

『きじよかゝズ』の義援金

「いぎみていくま会」は4月12日、第8回おおぎみ工芸展『いぎみていくま』売上金の一部として20万3千円と、来場者からの募金5万5266円を合わせ、計25万8266円を村役場に託しました。会長の前田國男さんは「苦しいときは『ユイメール』の心で、お互いに助け合うことが大切。募金してくれた人にも感謝したい」と話しました。

今、自分たちができること 喜如嘉保育所でリサイクルバザー開催

甚大な被害をもたらした東日本大震災の被災者に義援金を募ろうと3月22日～30日の期間、喜如嘉保育所の保護者会や保育所職員が主体となり、同保育所内でリサイクルバザーが開かれました。同保育所には、ベビー服や大人服といった洋服を中心に、玩具や帽子、バック、食器、野菜など約1000点にも及ぶ品物が保護者らから提供されました。届けられた品物は、多くの人に購入してもらおうと値段を10円～150円と低価格に設定。保護者の中には、購入金額のおつりを支援金に充ててほしいと申し入れる人や、チラシを見た地域住民からも品物の提供が相次ぐなど、人との「思い」でつなぐ支援の輪が広がり、地域ぐるみの活動に展開しました。

保護者らは「今、自分たちのできることを行動で示したいという思いがあった。支援活動は今回だけでなく、長期的にしていきたい」と力を込めました。

今回、多くの村民から集まったバザーの収益金は日本赤十字社に義援金として寄付されました。



保護者らの活動を子どもたちも応援

届けたい思い

自慢の無農薬野菜で被災地を支援

東日本大震災の被災地のために力になりたいとの思いから、大保区の崎山千代子さんが4月1日、畑で採れたニラ、チマサンチなどの野菜を大宜味村役場に無償提供し、同日役場庁舎前で販売されました。同様に、喜如嘉、塩屋の両保育所でも販売してもらい、提供した約90袋の野菜の売上げは、被災地へ全額寄付されました。



自慢の無農薬野菜を提供した崎山千代子さん

崎山さんは年間2ニラ、ネギ、大根、小松菜など約15種類の野菜を無農薬でつくっており、約7前から村給食センターにも採れたて旬の野菜を卸しています。「子どもたちにおいしい野菜を食べてもらいたかった」。子どもたちのために自分ができることをしたいとの思いが取り組みのきっかけでした。この時期、子どもたちは春休みに入っており、その分を被災地のために活用することを思いついたといいます。人のために、自分のできることをしたいという思いが両方の取り組みの根底にあり、原動力にもなっています。

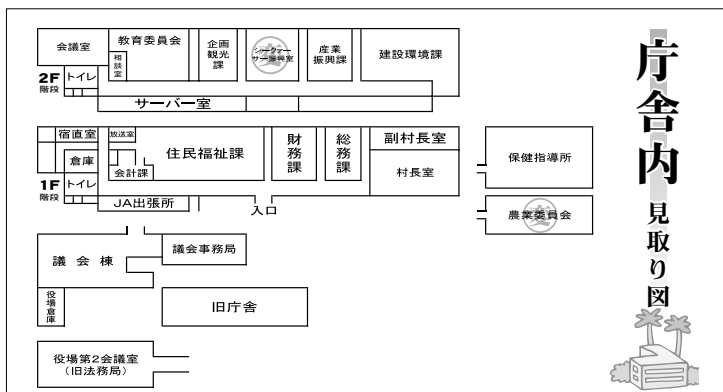
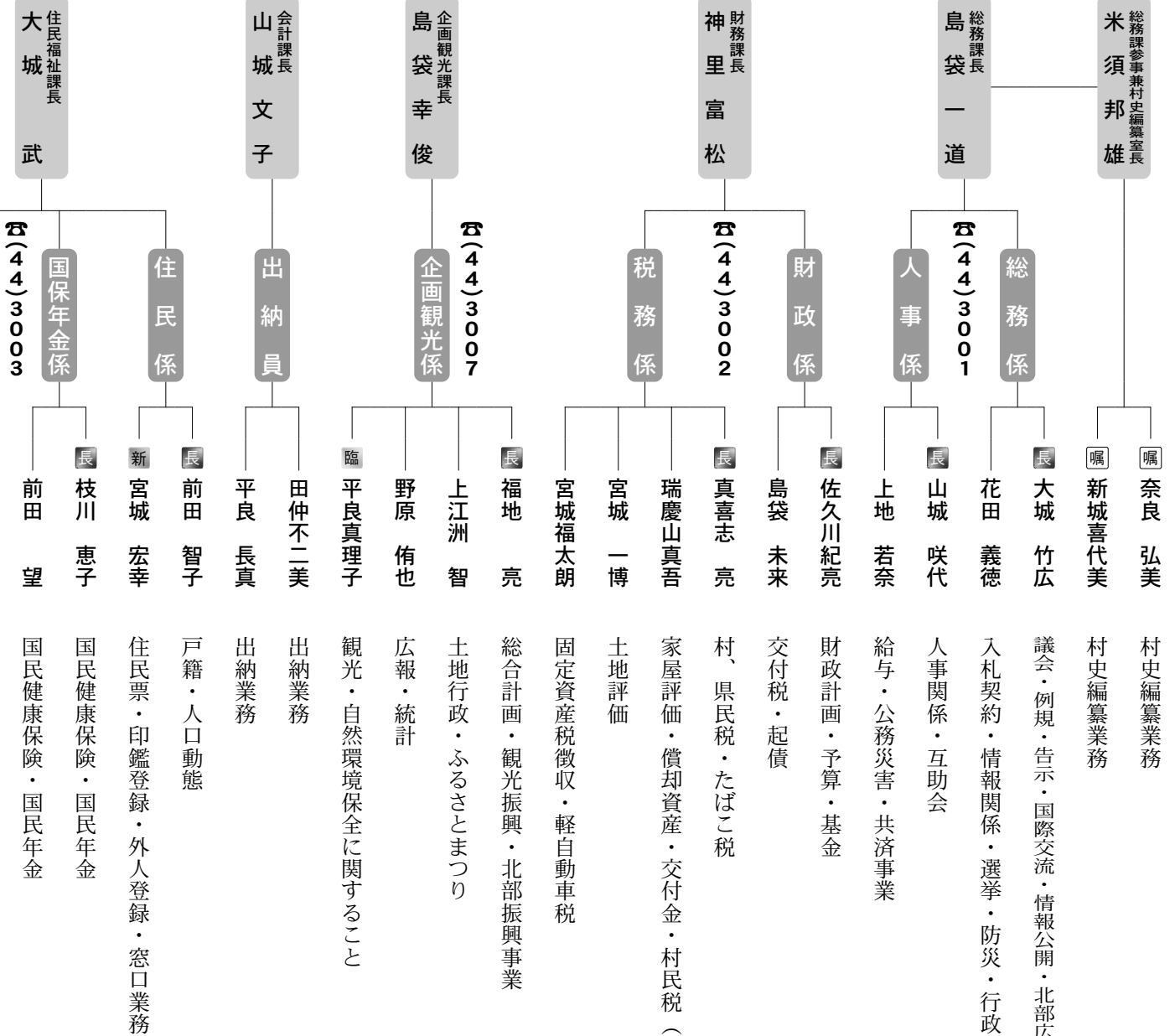
崎山さんは、今回の取り組みを「野菜を送ることとはできないが、気持ちを届けたかった」と振り返り、今後も多くの人が関わられるように農産物だけでなく、みんなの手づくりのおかしを販売するなど第2、第3の支援も考えているそうです。



村長・島袋 義久

副村長・宮城 重徳

会計管理者/会計課長が兼

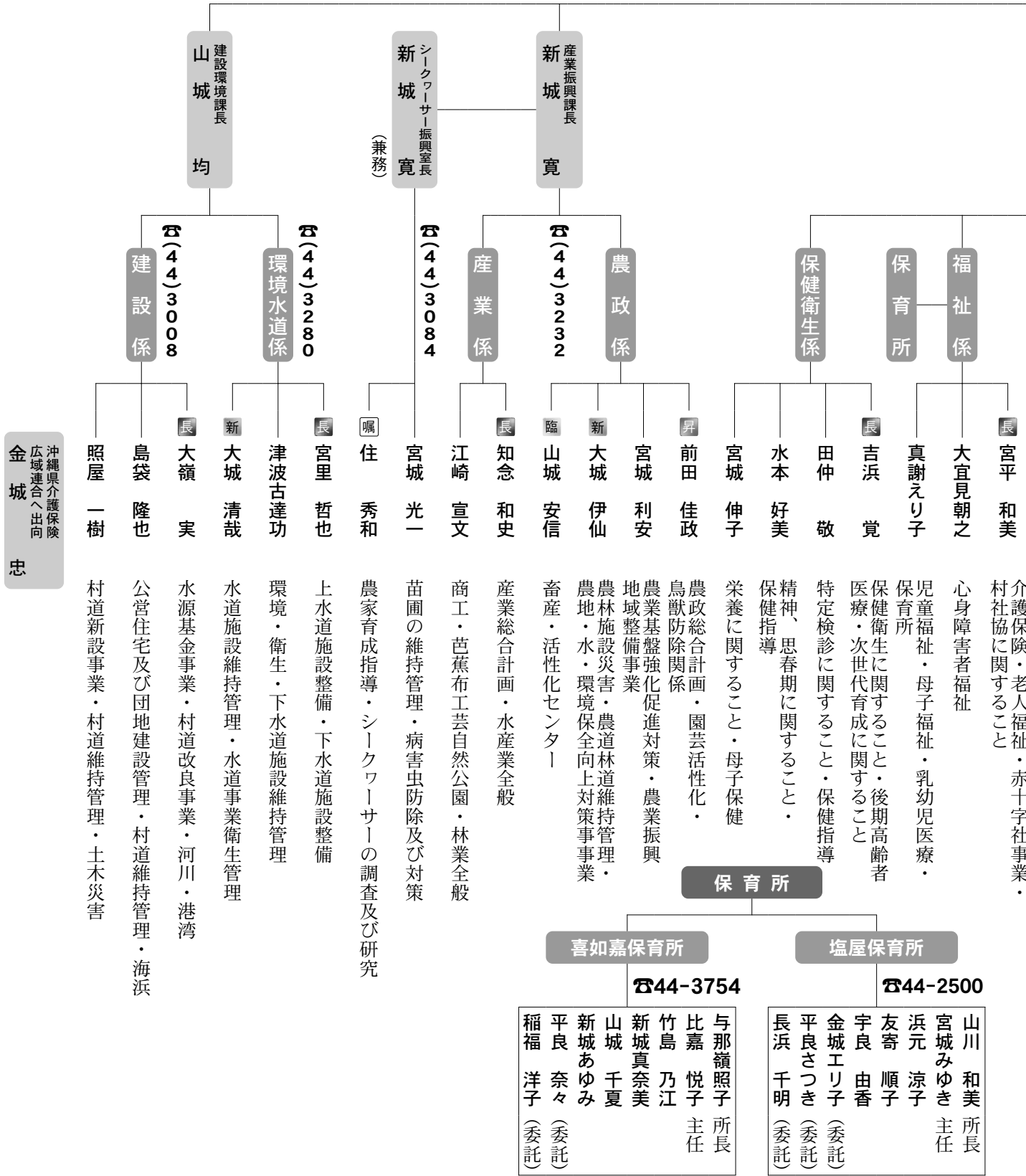


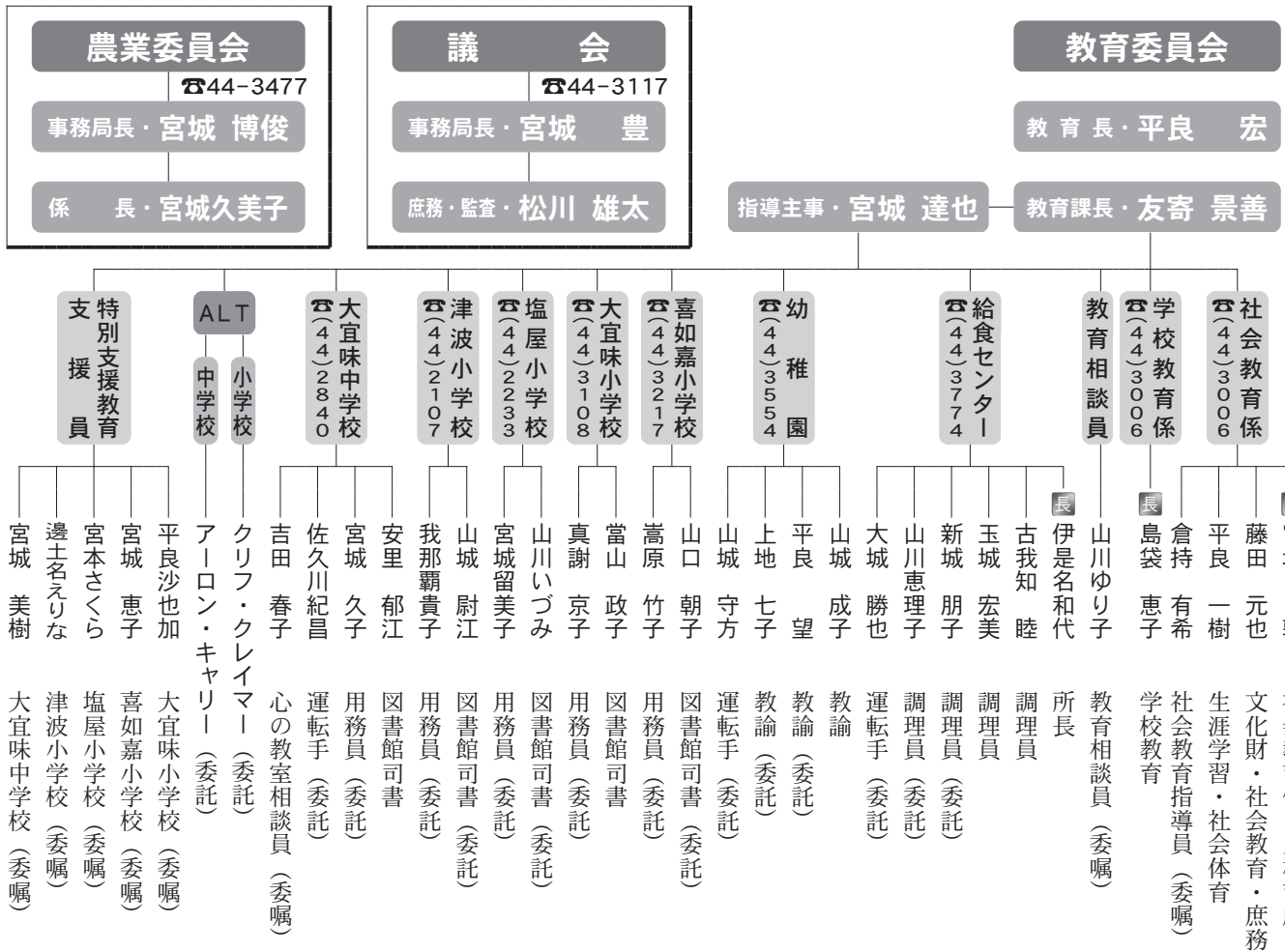


大宜味村行政機構及び職員配置図

長 は係長 昇 は昇任 新 は新採用
臨 は臨時 嘱 は嘱託

(平成23年4月現在)







住民福祉課
宮城 宏幸
(本籍塩屋・沖縄市出身)

祖父と父の故郷である、大宜味村で働くことを大変嬉しく思います。これから大宜味村の為に成るよう、日々努力していく所存でございます。窓口対応しておりますので、役場に足を運ばれた際には、お気軽に声をおかけ下さい。村民の皆様の、ご指導宜しくお願い致します。



建設環境課
大城 清哉
(塩屋区出身)

地元である大宜味村で働ける事に大変嬉しく思います。仕事や地域の行事で皆様とのふれあいを大事にしたいと思います。これからは大宜味村の発展に貢献できるように責任を持って取り組んでいきますので、皆様のご指導よろしく申し上げます。



教育委員会
宮城 達也
(大宜味区出身)

3年間大宜味小学校教頭として現場でお世話になりましたが、この度の人事異動により再度教育委員会へ戻ってまいりました。生まれジマの子どもたちのため、行政の立場からできることは何かを考え、課題解決のために役に立てるよう尽力したいと決意を新たにしています。ご協力よろしく申し上げます。



産業振興課
大城 伊仙
(根路銘区出身)

私は、大宜味村で育ち、学び、遊び、そして沢山の地域住民の皆様を支えられてきました。その生まれ育った大宜味村で働くことをうれしく思います。これからは村民の皆様との交流を深めていき、大宜味村の振興・発展に努め、そして感謝の気持ちを忘れずに全力で頑張っていきたいと思っております。村民の皆様のご指導よろしく申し上げます。

新採用 今後の活躍に期待します



山城 佑市
指導主事
勤続年数3年



長 浜 美恵子
図書館司書
勤続年数36年

退職者 永年お疲れさまでした

第33回 塩屋湾一周トリムマラソン大会



▲号砲とともに9.5kmコースをスタートする参加者ら

「第33回塩屋湾一周トリムマラソン大会（主催：同実行委員会）が4月17日、塩屋小学校グラウンドを発着点に開催されました。過去最多となる1093名のランナーが、風光明媚な塩屋湾を望みながら、春のやんばる路を駆け抜けました。沿道では、地域住民がパーランクや拍手で応援し、参加者を勇気づけました。今大会は、辺土名高校の生徒も誘導員補助や場内通告など競技役員として加わり、大会運営に協力してくれました。また、大会を通して東日本大震災の被災地を支援しようと、会場で義援金を募り、大会参加費の一部と合わせて日本赤十字社に送りました。走者も、地域住民から寄せられた「あきらめない心！東北に光り」、「共に手を取り心ひとつに」などのメッセージが刻まれたゼッケンを胸につけゴールを目指しました。



▲毎年参加してくれているえすの里の皆さん



▲ほほえましい親子での参加



▲弟の手を引きながらゴールを目指す



▲太鼓と拍手で選手を応援するお年寄りたち

第33回塩屋トリム大宜味村民限定ランキング（各コース1位）

コース	個人トリム			チームdeトリム							タイム差平均
	氏名	区	タイム	チーム名	メンバー						
3km	宮城 純太	塩屋	2秒	塩屋電気A	宮城 弘行	宮城 利安	宮城 美也子	宮城 紀奈野	宮城 梨琉	51秒	
5km	山城 嘉治	田港	5秒	えすの里	下地 立二	島袋 哲也	中村 力樹	中村 翔一郎	知念 光之介	4分35秒	
9.5km	富山 清光	田港	24秒	チーム国場	平良 底克	奈良 弘美	金城 光代	山川 広美	平良 佑子	7分59秒	

競走の部												
区分	3km男子				3km女子				3km			
	氏名	区	タイム	氏名	区	タイム	区分	氏名	区	タイム		
小1	宮城 天音	喜如嘉	17分53秒	金城 まひろ	大兼久	18分55秒	男子	宮城 一博	塩屋	12分29秒		
小2	福地 想楽	喜如嘉	15分41秒	外園 華音	饒波	16分15秒	女子	宮城 美也子	塩屋	20分26秒		
小3	名嘉 慶	塩屋	14分32秒	照屋 笑夏	大宜味	18分55秒	5km					
小4	山城 樹	喜如嘉	13分56秒	高原 咲輝	喜如嘉	13分56秒	男子	宮城 理文	津波	26分22秒		
小5	金城 元汰	大兼久	13分27秒	花城 綾姫	江洲	14分39秒	女子	倉持 有希	喜如嘉	30分59秒		
小6	仲原 広大	田嘉里	14分25秒	福地 菜	喜如嘉	15分00秒	9.5km					
中学1位	田場 晋	津波	13分12秒	吉田 幸乃	塩屋	16分14秒	男子	平良 長真	謝名城	34分06秒		
							女子	松本 安子	田港	1時間19分		

手づくりの品との出会い

〜いぎみていぐま展〜

地域振興と手づくりの工芸品を広くPRしようと、村内の工芸家の作品を一堂に集めたおおぎみの工芸展「第8回いぎみていぐま展」（主催：同実行委員会）が4月8日から10日の3日間、村農村環境改善センターと村立芭蕉布会館で開催されました。

同展では、芭蕉布、陶器、漆器、木工、藍染など、村出身者や村内に工房を構える19工房が出展し、約500点の作品が展示即売されました。この時期に開花を迎えるオクラレルカの花の色である紫をテーマカラーに、会場が彩られました。そして、8回目を数える今年のテーマ展示は、「八」の「末広がり」にちなみ、大宜味村ならではの「長寿」。1階の入り口横に設けられた展示コーナーには、角を八角に削ったお箸や、「風車（かじまや）」がデザインされた藍染など、長寿にちなんだ作品が並びました。「長寿食」を扱うことで知られる笑味の店も出展し、限定メニューとして工芸家の作った食器に盛りつけて提供しました。

「いぎみていぐま」という名称には、出展者たちの「手づくりで心をこめてつくる」という思いが詰まっています。同実行委員会会長の前田國男さんは「時間をかけて手しごとで作られたものには、人のぬくもりがある。日常生活の中で使ってもらい、心が豊かな暮らしを感じてもらえたらうれしい」と話してくれました。

また、東日本大震災の被災者を支援しようと、工芸展らしく下地正宏さんの作った壺を募金箱の代わりに設置し、義援金を募りました。



▲手でふれて作品を堪能



▲つくり手と会話を楽しむ来場者ら



▲今年のテーマ展示である「長寿コーナー」

平成23年度 大宜味村一般会計予算

【歳入歳出総額 2,513,644 千円】

地方財政は、企業収益の回復等により地方税収入や地方交付税の原資となる国税収入が一定程度回復することが見込まれる一方、社会保障関係経費の自然増や公債費が高い水準で推移することなどにより、依然として大幅な財源不足が生じる見通しとなっており、このような状況を踏まえて講じられた国の地方財政対策では、地方財政需要の確保、地域活性化や雇用確保のため、地方交付税を増額する内容となっています。

こうした状況を踏まえ、中長期的な視野に立った財政健全化の取り組みを推進するとともに、事務事業全般にわたり見直し・重点化により財源を確保し、第4次総合計画の実現に向けた予算編成としました。

平成23年度一般会計予算の総額は2,513,644千円で対前年度219,913千円の増、率にして9.6%の増となっています。

歳入については、普通交付税、国庫支出金、県支出金、繰入金、繰越金等が増加しています。

歳出については、行財政改革の効果もあり、職員給で7,631千円の減になっていますが、議員年金廃止に伴う議会議員共済会負担金17,270千円の増により人件費が増になっています。公債費については公債費負担適正化の観点から、近年の村債発行抑制により18,302千円の減となっています。一方、投資的経費については、喜如嘉林道開設事業、農村漁村地域整備交付金事業、防災行政無線整備事業等により増となっています。

また、一昨年度からの3次にわたる国の臨時交付金により、喫緊の課題が特定財源により処理できたことにより、今年度末の基金残高は平成21年度末からほぼ横ばいになる見通しとなっています。

平成23年度（歳入当初予算）

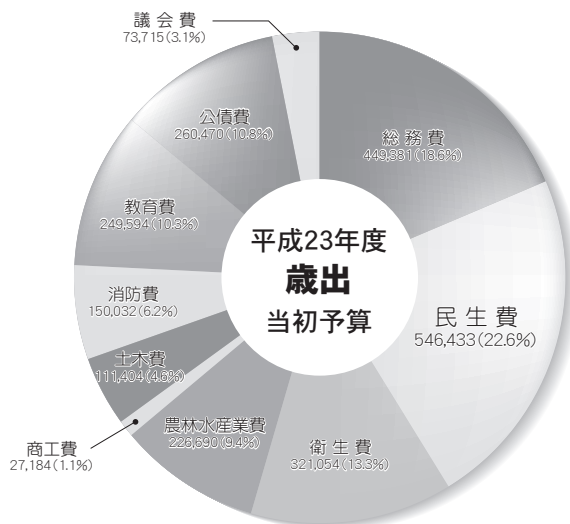
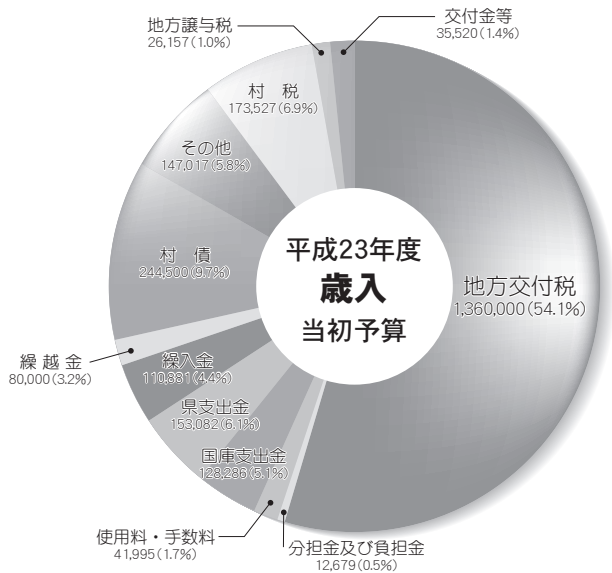
単位：千円・%

区分	当初予算額	構成比	前年度比
村 税	173,527	6.9	1.6
地方譲与税	26,157	1.0	△3.2
交付金等	35,520	1.4	△0.8
地方交付税	1,360,000	54.1	8.6
分担金及び負担金	12,679	0.5	2.0
使用料・手数料	41,995	1.7	16.8
国庫支出金	128,286	5.1	36.4
県支出金	153,082	6.1	32.4
繰入金	110,881	4.4	22.0
繰越金	80,000	3.2	100.0
村 債	244,500	9.7	△9.8
その他	147,017	5.8	△0.8
歳入合計	2,513,644	100.0	9.6

平成23年度（歳出当初予算）

単位：千円・%

区分	当初予算額	構成比	前年度比
議 会 費	73,715	2.9	29.3
総 務 費	449,381	17.9	13.7
民 生 費	546,433	21.7	7.2
衛 生 費	321,054	12.8	△16.2
農 林 水 産 業 費	226,690	9.0	71.2
商 工 費	27,184	1.1	81.2
土 木 費	111,404	4.4	38.0
消 防 費	150,032	6.0	23.3
教 育 費	249,594	9.9	△2.1
公 債 費	260,470	10.4	△6.6
そ の 他	97,687	3.9	50.6
歳出合計	2,513,644	100.0	9.6



おおぎみそんの予算のしくみ

歳入（収入）

平成23年度一般会計予算（1年間の収入）

単位：千円

区 分	区 分	金 額
村 税	住民の皆様が、村に納める税金です。	173,527
譲与税・交付金	住民の皆様が、国に納める税金の一部が市町村に交付されます。使い道は自由です。	61,677
地方交付税		1,360,000
分担金及び負担金	事業を行ううえで、その事業に係る経費の一部を受益の割合に応じ負担していただきます。	12,679
使用料・手数料等	村の施設を利用する際、支払うお金です。	41,995
国・県支出金等	住民の皆様が、国に納める税金の一部が市町村に交付されます。使い道が決められています。	281,368
繰入金	主に基金を取り崩しています。	110,881
繰越金	前年度からの繰越金です。	80,000
村 債	国や銀行からの借金です。	244,500
その他	その他の収入	147,017
計		2,513,644

大宜味村の一般会計予算をみてみると、83%が国からの交付税や国庫金などによる依存財源で、村が自主的に収入できる自主財源はわずか17%しかありません。今後は自主財源の比率を伸ばしていく方法を検討していかなければなりません。

家計簿に置き換えてみると・・・

1年間の収入(100分の1) 単位：万円

収入項目	金額
給料（村税）	174
親からの仕送り（交付税等）	1,422
諸手当（分担金及び負担金）	13
副業（使用料・手数料）	42
親から特別にもらう仕送り（国・県支出金等）	281
預金の取り崩し（繰入金）	111
現金の残り（繰越金）	80
銀行からの借金（村債）	245
その他	147
計	2,514

家計簿に置き換えた1年間の収入をみてわかるとおり、大宜味村の事情は親からの仕送りに頼っていることがはっきりわかります。また、銀行からの借金や預金の取り崩しを毎年行っています。

歳出（支出）

平成23年度一般会計予算（1年間の支出）

単位：千円

区 分	区 分	金 額
人 件 費	職員・特別職等の給料などにかかる費用です。	625,363
扶 助 費	障害者支援などの福祉や医療にかかる費用です。	191,673
公 債 費	借金の返済に係る費用です。	260,470
物 件 費	光熱水費、消耗品費、切手等にかかる費用です。	437,195
維持補修費	施設の維持管理のための費用です。	12,416
補助費等	一部事務組合等に対する負担金等です。	391,994
投資及び出資金等	株の出資、貸付金に係る経費です。	4
普通建設事業費	学校、住宅、道路などの基盤整備に関する費用です。	223,928
災害復旧事業費	災害にかかる復旧に関する費用です。	1,372
積立金	各種基金への積立です。	70,353
繰出金	特別会計への繰出です。	272,941
予備費	緊急に支出を必要とした場合に使います。	25,935
計		2,513,644

ローンの返済も減少傾向にありますが、こどもへの仕送りもあるなか家のリフォームも行わなければなりません。子どもたちには早く独立してもらいたいところです。

来年以降も医療費も増えていくものと思われます。食費、光熱水費等については、これからも切り詰めていかなければなりません。

家計簿に置き換えてみると・・・

1年間の収入(100分の1) 単位：万円

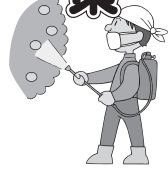
収入項目	金額
食費（人件費）	625
医療費（扶助費）	192
光熱水費・通信費、その他（物件費・補助費等）	868
家のリフォーム（普通建設事業費）	225
子どもへの仕送り（繰出金）	273
ローン返済（公債費）	260
貯金（積立金）	70
計	2,514

家計簿に置き換えた1年間の支出をみてみると、食費、光熱水費・通信費、その他の占める割合が全支出の59%もあります。人口の少ない市町村においては、食費の割合はどうしても高くなる傾向にありますが、平成16年度と比較すると28%減になっています。

いざよい

インフオメーション

「かいよう病」「そうか病」対策



高品質で果実表面のきれいな青切り用果実を生産するには病害虫対策が欠かせません。具体的には「かいよう病」「そうか病」対策が必要となります。これらは細菌などが引き起こす病気です。計画的な殺菌剤の散布をすることによって低減することが出来ます。農薬については農協などで使用方法などをお問い合わせして購入して使用してください。



そうか病



かいよう病

詳細はシークワサー振興室まで
(0980・44・3084)

行政相談委員に 山城清安さんを委嘱



このたび山城清安さんは、総務大臣から行政相談委員に委嘱されました。期間は、平成25年3月31日までの2年間となっています。

行政相談委員は、行政相談委員法に基づき、国の行政運営の改善等に熱意を有する方に対して、総務大臣が委嘱するものです。

行政相談委員は、国民が毎日の暮らしの中で感じている国の役所等の仕事について、苦情や意見・要望を直接受け、その解決・実現に努めています。相談事がありましたら、お気軽にご利用下さい。

●お問い合わせ先
沖縄行政評価事務所 TEL098-866-0148

日本赤十字社へのご協力 をお願いします。

沖縄県支部長 仲井眞 弘多 大宜味分区長 島袋 義久

赤十字は、多くの人の協力に支えられています。活動資金に込められたあなたの思いが国の内外で多くの人々を助けています。昨年大宜味村民、大宜味村建設業者会等多くの方々のご理解いただきました。深く感謝いたします。本年度も、赤十字の人的活動を支える「赤十字社員」を5月の赤十字月間にあわせ募集致します。社員とは赤十字事業の趣旨をご理解いただいた方で、毎年一定額(500円)の社費(会費)を納入いただける個人と法人のことで、どなたでも参加できます。戦争や災害や病気で苦しむ人がいる。何とかしたい、助けてあげたい。あなたも赤十字の活動を支える一人になつて下さい。

*各字区長さんへチラシを配布しております。

■大宜味村役場・住民福祉課 ☎44-3003
赤十字担当/宮平和美

人権擁護委員の日 みんなで築こう 人権の世紀

～考えよう 相手の気持ち 育てよう 思いやりの心～

全国一斉「人権擁護委員の日」
特設相談所開設

日時 平成23年6月1日(水)
午前10時～午後4時

場所 大宜味村役場 第2会議室

近隣とのトラブル、家庭内のもめごと、いじめ・体罰に関する問題、離婚、扶養、相続、遺言、借地借家等の相談に応じています。
相談は無料で、難しい手続きもなく、秘密は固く守られます。

【お問い合わせ先】
大宜味村 総務課
電話番号 (0980) 44-3001



①メッシュユ民間救急ヘリ運航継続決定!

多くの方々のご支援により平成23年夏ごろまでの運航が決定しました。

②岩手県災害本部の要請によりメッシュユヘリ出動!

東日本大震災支援の為、メッシュユヘリは3月30日より4月12日まで岩手県での大役を終えました。花巻空港を拠点に医師や医薬品運搬などの支援活動をしました。飛行実績51件

③メッシュユ北部(名護)事務所再開します!

GW明けにスタッフの常駐を予定しています。今まで以上に北部地域の皆様にご理解頂けるよう邁進する所存です。

④那覇事務局を北部情報発信所として開設します!

那覇事務所にて北部地区における「旬」の情報やイベント関連などを発信することになりました。是非、ご利用下さい。

NPO法人 メッシュユサポート事務局
那覇市壺川3-4-26 オキジム壺川ビル1階 電話 098-835-9100

村の代表監査員に 前田國男氏

4月1日付けで、村の代表監査委員に前田國男氏（謝名城）が就任し、委嘱状が交付されました。前田氏は2期目の就任となります。

任期は4年間で、村議会議員選出の監査員大城佐一氏（塩屋）と二人で、役場の事務事業などが適正に執行されているか、チェックを行います。



▲前田 國男氏

▼村社会福祉協議会へ
古波蔵 義照 様
3万円
◎江洲区
母 ナツさんの香典返しとして

ご寄付

村の人口

3月末現在

男 1,744人 (+5)

女 1,654人 (+2)

計 3,398人 (+7)

世帯数 1,661世帯 (+9)

出生 3人 転入 37人
死亡 2人 転出 31人

※注()内数は対前月比



▲会議で話し合う地域住民ら

根路銘区が17地区あり、先月の地域会議で、防災意識を高め、自分たちで守るという気概で、

6月12日には、全国一斉に実施される土砂災害を想定した避難訓練を行う予定で、会長の宮城さんは「みんなが災害に対して防災意識を高めることが大切。自分たちの地域は自分たちで守るという気概で、

根路銘区ではこのほど、村内初となる地域住民で組織する根路銘区自主防災会（会長 宮城健隆）を結成し、その第1回目の会議が3月23日、同区公民館で開催されました。組織は、会長、副会長ほか、消化班、避難誘導班、救出・救護班、給食・給水班の4つに分けて構成され、全住民を会員としています。同区が定める防災計画では、地震、火災、風水害などあらゆる災害に備えた防災訓練や、災害発生時の防災組織の任務分担などがまとめられています。

根路銘区で自主防災組織を結成し、地域を強く、災害に強い地域を目指して



5 May 5月1日~6 June 6月10日 大宜味村カレンダー

1 日	
2 月	◆PTA総会（大宜味・塩屋・津波小学校）
3 火	憲法記念日
4 水	みどりの日
5 木	こどもの日
6 金	◆春の遠足（村内4小学校）
7 土	
8 日	母の日
9 月	
10 火	
11 水	◆春の交通安全出発式 ◆村老連定期総会
12 木	
13 金	◆春の遠足（塩屋保育所）
14 土	◆沖縄県植樹祭（大宜味村「結の浜」）
15 日	家庭の日 ◆ミニバスケット辺土名ブロック交歓会
16 月	
17 火	
18 水	◆春の遠足（喜如嘉保育所）
19 木	
20 金	◆4小学校PTAプール清掃
21 土	◆第21回やんばる駅伝（伊是名島）大会

22 日	◆村野球大会
23 月	
24 火	◆村教委計画訪問（塩屋小）
25 水	◆村学対家庭・地域教育部会
26 木	
27 金	
28 土	
29 日	◆村野球大会
30 月	
31 火	◆村教委計画訪問（大宜味中）
6月 June	
1 水	◆区長会
2 木	◆村教委計画訪問（喜如嘉小）
3 金	振替休日（大宜味中） ◆各種団体GG大会
4 土	◆地区中体連夏期総体（～5日）
5 日	
6 月	振替休日（大宜味中）
7 火	◆村学力向上対策委員会総会
8 水	
9 木	
10 金	

村内あれこれ

大宜味村茶の復活を目指して



村津波の山城茶園・山城勝則さん（謝名城）の畑で4月6日、一番茶の茶摘みが行われました。収穫されたのは、緑茶の「さえみどり」という品種で約1500キロを収穫しました。山城さんは、おいしくて、安心して飲んでもらうため、EM菌を混ぜた土を使い、無農薬栽培にこだわったお茶作りをしています。昭和20～30年代は、大宜味はお茶どころとして知られており、その復活を願ってお茶作りに励んでいると言います。現在、2つ目の茶畑も準備中で、2年後から収穫が始まります。山城さんは「今後、仲間を増やして大宜味村のお茶として全国にPRしたい」と意気込んでいます。山城さんのつくる長寿の恵み「大宜味産の茶」は、道の駅おおきみとコープおきなわを中心に販売されています。

キラリ^{いい人・いい村・黄金村}おおきみ

NPO法人 おおきみまるごとツーリズム協会

名前 宮城 健隆さん(根路銘区)



おおきみまるごとツーリズム協会の理事長であり、根路銘区の区長も務める宮城健隆さん。生まれは宮城県だが、母親が根路銘区出身という縁もあり、定年退職後に大宜味村に移り住んだ。大宜味村に来て7年目となる今も、大宜味村を他には負けない観光のむらにしようと奮闘している。

現在、おおきみまるごとツーリズム協会は、ぶながや館（大保ダム内）を拠点として活動しており、「体験してこそ、深みのある観光」という考えのもとに、宮城さんを中心に“大宜味村らしい”観光のあり方を模索中。ノルディックウォーキングなどの運動も取り入れた、新しいプランもすでに実施しているところだ。

今後は、行政・民間・地域の3者の連携を図ることが大きな課題となる。「地域ぐるみでの受け入れ態勢を築き、質の高い観光産業を作っていく」という宮城さん。その実現に向け、ぶながや館で尽力する日々を送っている。

入学おめでとございます。ピカピカの1年生



大宜味小学校 男子2名・女子9名 計11名



喜如嘉小学校 男子2名・女子3名 計5名



津波小学校 男子2名・女子3名 計5名



塩屋小学校 男子4名・女子4名 計8名